

学習だより

Break-through

打破！

ブレイクスルー

第1号

平成28年4月20日(水)

小笠原中学校

進路学習部

文責：高橋・福守

田野辺

◆なぜ学ぶのか◆

新学期がはじまり2週間が経過しました。1年生は中学生になり、新しいことばかりで戸惑うことも多いと思います。小学校との大きな違いは、各教科担当がいるということです。専門の先生の授業を受けることにより、知識と理解を一層深めることができます。当然、内容も難しくなりますし量も増えますから、理解するための努力を今まで以上にしなければなりません。また、部活動も始まり、帰宅時間は大幅に遅くなりました。今までよりも自由になる時間が減ったということです。そんな中で家庭学習の時間を作るのは、始めは難しいかもしれません。しかし、人間は習慣になると苦ではなくなります。4月のうちから学習時間を確保する習慣をつけておけば大変な思いをすることは少なくなります。すでに配布されている学習の手引きをよく読んでください。スタートが肝心です。家庭学習時間を作りましょう。

2・3年生、昨年の「2週間プログラム」や「学習計画表」から分析すると、まだまだ家庭学習時間が充分とは言えません。特に3年生は「受験生」としての意識を持って復習を中心に家庭学習時間を増やす努力をしましょう。

「なぜ学ぶのか。」考えたことはありますか。右に11個の理由をあげてみました。皆さんの考えに当てはまる項目はありますか。あるいは「⑫その他」にはどんな理由が考えられるでしょうか。「勉強が好きだ」という人は少ないかも知れませんが、人は常に学びながら生きているものです。「知りたい」ということは本質的に人間の欲求の1つでもあります。その欲求を満たすには「学び」が必要となるわけです。

- ①中学生は勉強するのがあたりまえだと思うから。
- ②みんなが勉強しているから。
- ③家族が勉強しなさいというから。
- ④先生が勉強しなさいというから。
- ⑤勉強することや学ぶことが好きで、楽しいから。
- ⑥テストでよい成績をとりたいから。
- ⑦高校や大学などに進学したいから。
- ⑧やってみたい職業に就くために必要だと思うから。
- ⑨自分の能力を伸ばしたいから。
- ⑩将来の夢を叶えるために必要だと思うから。
- ⑪勉強したことを社会で生かしたいから。
- ⑫その他。

中学校で学んでいることはたくさんあります。各教科を専門の先生から教わり、クラスという仲間とともに集団生活を営み、人との関わり方を肌で感じながら生活しています。毎日が学びということです。

相対性理論などを提唱し、現代物理学の父と称されるアルベルト・アインシュタインは右のような名言を残しています。

学べば学ぶほど、
自分が何も知らなかった事に気づく、
気づけば気づくほどまた学びたくなる。

生きていく中で、社会や経済の変化に対応するため、たえず新しい知識や技術を習得していかなければなりません。自分は何に興味があるのかを知るためにも学ぶことは必要なことなのです。そして、心の豊かさや生きがいのため、興味があることや新しいことを学ぶのは人生をより充実したものにしてくれます。

